



六中防災 便り

Vol.5

2016.9.5

9月1日 防災の日

9月1日は「防災の日」です。災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心がまえを準備するためとして、1960年に制定されました。また、9月1日の「防災の日」を含む1週間が「防災週間」と定められています。

9月1日という日付は、1923年9月1日に発生した「関東大震災」に由来しています。今から93年前の9月1日11時58分32秒、神奈川県の相模トラフを震源とするマグニチュード7.9の大地震が発生し、神奈川・東京を中心とした広範囲に震度5～7の大きな揺れをもたらしました。それに伴い、10万人を超える犠牲者や建物被害が発生しました。

また、8月から9月は、台風の接近・上陸が多く、1959年9月には、5000人を超える犠牲者を出した「伊勢湾台風」が襲来しました。これらのことから、この時期は、家族や地域、学校で防災について話し合い、身の回りの安全を見直し、防災意識を高める良い機会と言えるのです。

集団下校訓練

9月1日、六中では集団下校訓練が行われました。集団下校に先立ち、各地区班では次のような学習活動をしました。

- ① 居住地区の一時避難場所、避難場所、第一次避難場所、第二次避難場所の確認
- ② 地震発生を想定した課題の検討
 - A 地震が起きてすぐにすべきこと
 - B 地震発生後、落ち着いたらすべきこと
 - C 地震発生後、避難するときにすべきこと
 - D 地震に備えて用意しておいた方がよいもの

①、②のいずれの活動もグループで行われました。居住地区の避難場所等を探すのに苦労したり、他学年との慣れないグループワークにとまどったりする様子もありましたが、全体としては、3年生を中心に配布された資料や「東京防災」などを使って協力して調べる姿が見られました。こうしたつながりが、防災力を高めます。学習活動で得たことは、必ず家の人に伝え、家庭や地域の防災に役立ててください。

その後に実施された集団下校でも、地区班ごとに2列縦隊や右側通行を守り、落ち着いて下校できました。

東京ではマグニチュード7を超える首都直下型地震が、いつ起きてもおかしくないと言われています。また、8月下旬から立て続けに襲来する大型台風により、多くの被害が出ていることは、皆さんもよく知っているでしょう。集団下校訓練の学習活動をきっかけに、安全に避難する方法や備蓄品の準備など、今できる防災アクションを起こしましょう。



< 宿題 9月9日(金)まで >

「防災ノート P.10 まとめる」

「安全に集団で下校するために」の集団下校後の見通し

「家族でやろう。防災アクション」

< 今後の予定 随時受付 >

9月9日(金)	15:50~16:50	第二回防災学習会
9月10日(土)	11:30~17:00	簡易宿泊体験学習会
9月16日(金)	15:50~16:50	第三回防災学習会
9月18日(日)	13:00~16:00	消防団合同点検参加